

## ミスミグループ本社 2022年3月期 第3四半期 連結業績

～グローバルで設備投資需要や稼働が堅調に推移し、  
第3四半期決算として売上高、利益ともに過去最高を更新～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2022年3月期 第3四半期累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減率
売上高	223,014	<b>274,155</b>	+22.9%
営業利益	17,533	<b>41,898</b>	+139.0%
純利益	12,183	<b>29,903</b>	+145.4%
1株当たり純利益	42.91円	<b>105.23円</b>	

### <2022年3月期第3四半期累計期間の連結業績ハイライト>

#### 1. 売上の拡大および収益改善効果の継続により大幅増益

- 当第3四半期累計期間における世界経済は、期初から設備投資需要や稼働が回復し、その後堅調に推移してきました。一方で、半導体など一部の部品の品薄状況が継続しており、また、グローバルで新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞やサプライチェーンに及ぼす影響などの懸念があり、先行きの景況については不透明感を払拭できない状況にあります。
- こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の确实短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。  
これまで当社が築いてきた IT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響や地政学的なリスク等の環境変化にも対応することで世界の顧客に安定供給を継続いたしました。
- この結果、連結売上高は 274,155 百万円、前年同期比 22.9%増(現地通貨ベース 18.0%増)となりました。利益面につきましては、売上高の拡大および収益改善効果の継続により、営業利益は 41,898 百万円(前年同期比 139.0%増)、経常利益は 42,035 百万円(前年同期比 140.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 29,903 百万円(前年同期比 145.4%増)となり、第3四半期決算として売上高、利益ともに過去最高を更新しました。

## 2. 全事業セグメントで拡大する需要を確実に捉え、高成長を継続

2022年3月期第3四半期累計期間のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	74,055	<b>88,962</b>	+20.1%	+15.1%
金型部品事業	48,520	<b>56,224</b>	+15.9%	+9.6%
VONA事業	100,438	<b>128,969</b>	+28.4%	+24.1%
合計	223,014	<b>274,155</b>	+22.9%	+18.0%

- FA事業は、日本をはじめ全ての地域で成長が継続したことにより、前年同期比 20.1%の増収となりました。
- 金型部品事業は、全地域において成長が継続し、前年同期比 15.9%の増収となりました。
- VONA事業は、グローバルで自動化関連需要を幅広く獲得したことで、前年同期比 28.4%の増収となりました。

## 3. 全地域で第3四半期決算として過去最高を更新

2022年3月期第3四半期累計期間の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	110,768	<b>131,442</b>	+18.7%	—
海外	112,246	<b>142,712</b>	+27.1%	+17.3%
中国	46,633	<b>56,938</b>	+22.1%	+8.8%
アジア	30,732	<b>40,411</b>	+31.5%	+24.3%
アメリカ	19,662	<b>24,711</b>	+25.7%	+19.5%
ヨーロッパ	11,599	<b>15,410</b>	+32.9%	+24.0%
その他	3,618	<b>5,240</b>	+44.8%	+32.7%

- 日本では引き続き半導体関連の需要がけん引し、前年同期比 18.7%の増収となりました。
- 海外各地域とも堅調に推移し、前年同期比で 27.1%伸長しました。

#### 4. 2022年3月期連結業績予想および期末配当予想を上方修正

(1)2022年3月期 連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	356,000	48,500	48,500	35,200	123.87
今回予想(B)	366,000	52,000	52,000	37,000	130.17
増減(B-A)	+10,000	+3,500	+3,500	+1,800	
増減率(%)	+2.8%	+7.2%	+7.2%	+5.1%	
前期実績	310,719	27,199	27,189	17,138	60.36

第3四半期連結累計期間においては、グローバルで設備投資需要や稼働が堅調に推移しており、業績の進捗および足元の需要動向を勘案した上で、通期連結業績予想を上記のとおり上方修正いたします。

なお、今後さらなる新型コロナウイルス感染症拡大により業績に影響を及ぼす重要な事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

(2)2022年3月期 期末配当予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		12円65銭	30円98銭
配当性向		25.0%	25.0%
今回修正予想		14円23銭	32円56銭
配当性向		25.0%	25.0%
当期実績	18円33銭		
前期実績	5円91銭	9円18銭	15円09銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%

当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に勘案し、株主還元方針を定めております。

配当に関しては、配当性向25%を基準としていることから、上記のとおり2022年3月期連結業績予想の修正により、期末配当予想を1株当たり14円23銭(前年比5円05銭増)に修正し、年間配当予想は32円56銭の見込みとなります。

#### [業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている2022年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2022年3月期第3四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ  
株式会社ミスミグループ本社  
コーポレート・リレーション室 IR・SR チーム  
Tel: 03-5805-7037 Fax: 03-5805-7014  
mail: cc@misumi.co.jp